

No.282  
2018  
4/20



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索



## 東労組第35回臨時大会開催 No.4

4月12日、第35回臨時大会が開催され、吉川委員長に対する制裁審査委員会設置について審議を行いました。

### ■制裁審査委員会の設置について

●制裁申請者：東日本旅客鉄道労働組合中央執行委員会

○制裁対象者：中央本部執行委員長 吉川 英一

### ▽質疑

#### 八王子(反対意見)

明確に反対する。吉川委員長に対する制裁審査委員会の設置、内容上も形式上も全くデタラメ、いい加減であり到底認められない。4月6日の臨時中央執行委員会冒頭、成立確認後にこの制裁審査委員会設置がいきなり提起された。さらにいきなり決をとり、議論が全くないまま、東労組の最高責任者に制裁をかけてしまうという暴挙は、正にJR東労組のこれまでの歴史に泥を塗る行為だ。中央執行委員会で議論が一切ない、議事録にも何も残らない、歴史に汚点を残した事を是非自覚して頂きたい。地本に対しても何の話もないまま4月6日の23:38にFAXで指令が送られてきた。この文書だけ見ても全く意味がわからない。そもそも吉川委員長は責任を取って辞任をすることも表明したじゃないか。突如制裁をかける事に全く意味がわからない。制裁にかかる事自体が目的ではないかと疑ってしまう。八王子地本として本部に説明を求めたが、本部内でどのような議論になっているかを聞いても答えて頂けない。「臨時大会を混乱させるよう三地本には奮闘を期待している」など全く事実ではない。誰の報告かも言わない。そもそもなぜ事実確認を八王子地本にしないのか。まず地本に確認し、正しく現実を掴む事がやるべき組織運営だ。吉川委員長にも事実確認していない。さらに酷いのはこの制裁申請の議論を中央執行委員会で行わなかった理由について、奥山副委員長は「議論をしても対立だから」この発言は認められない。反対意見を聞かない、正に独善的な姿勢そのものだ。正に制裁されるべきは今の中央執行委員会だ。八王子での集会名も正式名称と違う。何故事実と違う事が書かれるのか。こんないいかげんな内容で制裁申請できるほど、東労組は落ちぶれたのかと、残念でならない。そもそも今臨時大会は規約違反であり無効。よってこの制裁申請は無効であり断固反対を表明する。

#### 千葉(賛成意見)

私たちは格差ベア根絶に向けて12地本統一闘争としてこの間取り組んできた。2月24日の戦術委員長会議で成果を確認し労使紛争に幕を閉じたにも関わらず、現段階においても労使紛争は解決していない。脱退は2万3000を超え千葉でも2500名が脱退をしている。18春闘での戦術を含め闘いの中で起きており、本部だけではなく承認してきた地本の責任もある。この混乱を収めるために地本として本部へ3点の要請をしてきた。しかし、18春闘内で数々の信じられない吉川委員長の言動が明らかになった。特にスト戦術に対して長野・新潟地本には「2月中に決着は着く」「ストはやらなくていい」と。私も長野の仲間からその事実を聞かされた。歯を食いしばり意思確認をしている最中、その過程の裏でこのような言動がやられていた事は、自ら出した闘争方針違反だ。真面目にストを準備、担ってきた組合員に対する背信行為だ。さらに千葉を含めた6地本に対し「労働者とは思えない」と言われたと聞く。どちらが、と言いたい。東京、八王子が出している告発メールによれば、2月23日の午前中に当時の深沢副社長と吉川委員長でのやりとりがあったようだが、その中で最後にストはやらないと言って帰ったと言われている。当日の午後には大事な闘争1号がある中で、ストライキはやらないと会社に宣言し武装解除をしていたのであれば、重大な問題であり交渉団、組合員に対する背信行為だ。そしてこの告発メール通り2月24日の戦術委員長会議でこだわらないという事を確認、妥結した事実からすれば事前に会社と手打ちしてたとしか思えない。最高責任者でありながら自らの指導責任を棚上げし、大量脱退から目を背け、反転攻勢で今日まで組織内の対立を煽り、混乱させてきた吉川委員長のこの間の行為は規約第60条第1項(1)~(4)に十分該当する行為だ。しっかり制裁審査委員会の中で調査をして頂きたい。

反対96 棄権2 賛成137 無効0

賛成多数で制裁審査委員会設置決定

### 吉川委員長の制裁審査委員会委員

盛岡：佐々木 秋田：柴田 仙台：尾形 水戸：小川 千葉：鶴ノ澤 大宮：川澄  
横浜：木之下 八王子：佐々木 高崎：松下 長野：杉村 本部：徳野中執